

施設分類別の検討

施設分類：温浴施設

(単位 人、千円、円/人)

中学校区	錦城中学校区	山代中学校区	片山津中学校区	山中中学校区		
施設名	いきいきランドかが	山代温泉総湯	片山津温泉総湯公園	菊の湯第1	菊の湯第2	ゆけむり健康村
建築年度(年)	2005	2009	2011	1992	1994	1990
築年数(年)	16	12	10	29	27	31
耐用年数(年)	47	47	47	47	47	47
再調達価格(千円)	728,307	777,480	722,600	141,900	157,178	2,066,721
C 2021-2060年の更新費試算(千円)	673,445	1,049,735	469,690	120,615	133,601	1,536,493
A 利用者人数(延べ人数)(人)	140,632	491,613	332,487	753,734		240,809
浴場のみ利用者人数(人)	34,229	491,613	332,487	753,734		213,920
B 市の維持運営負担額(千円)	2,443	4,134	3,309	5,950		82,635
1人当たり実質市負担額 B/A(円/人)	17.4	8.4	10.0	7.9		343.2
D 2021-2060年の維持負担額試算(千円)	97,720	165,360	132,360	238,000		3,305,400
2021-2060年の負担額試算(C+D)(千円)	771,165	1,215,095	602,050	492,216		4,841,893
2021-2060年の年平均負担額試算(C+D)/40(千円)	19,279	30,377	15,051	12,305		121,047
除却費用試算(千円)	100,911	42,732	38,866	13,012	15,506	217,656
施設の必要性・効果	・錦城中学校区唯一の温浴施設 ・市民の保養と健康増進を図るとともに、福祉の向上と地域振興に資する	・市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与する ・市民の共同浴場であり、地域コミュニティの場	・市民及び観光客が集う憩いの場を提供し、温泉地の賑わいを創出する ・市民の共同浴場であり、地域コミュニティの場	・市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与する ・市民の共同浴場であり、地域コミュニティの場	・市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与する ・市民の共同浴場であり、地域コミュニティの場	・市民の保養と健康増進、福祉の向上及び観光振興に寄与する ・道路の利用客等に対し、良好な休憩の場及び道路情報等を提供する
代替施設	・温浴施設、グランドゴルフ場は同地区内にはないが、市内に複数あり ・フィットネスジム、屋外・屋内グラウンドは同地区内にあり	・同地区内に温泉旅館(日帰り入浴可)が多数あり	・同地区内に温泉旅館(日帰り入浴可)が多数あり	・同地区内に、ゆけむり健康村あり ・同地区内に温泉旅館(日帰り入浴可)が多数あり	・同地区内に、ゆけむり健康村あり ・同地区内に温泉旅館(日帰り入浴可)が多数あり	・温浴施設は同地区内に菊の湯第1、第2あり、また、温泉旅館(日帰り入浴可)も多数あり ・プール・テニスコート・フィットネスジムは同地区内にはないが、市内に複数あり ・体育館は同地区内にあり ・食事処は同地区内に複数あり ・指定緊急避難場所は、同地区内に複数あり
特記	・多機能併設(フィットネスジム、屋内・屋外グラウンド、グラウンドゴルフ場)	・財産区事業から生じた果実を活用し、できるかぎり市の負担がない運営 ・古総湯は財産区財産	・財産区は廃止されている	・財産区事業から生じた果実を活用し、できるかぎり市の負担がない運営	・財産区事業から生じた果実を活用し、できるかぎり市の負担がない運営	・山中地区三番目の温浴施設 ・多機能併設(プール・フィットネスジム・テニスコート・体育館・食事処) ・老朽化が著しい ・駐車場は、指定緊急避難場所

令和元年度決算主要施策報告書等より

山中温泉ゆけむり健康村

1. 建設時の施設目的

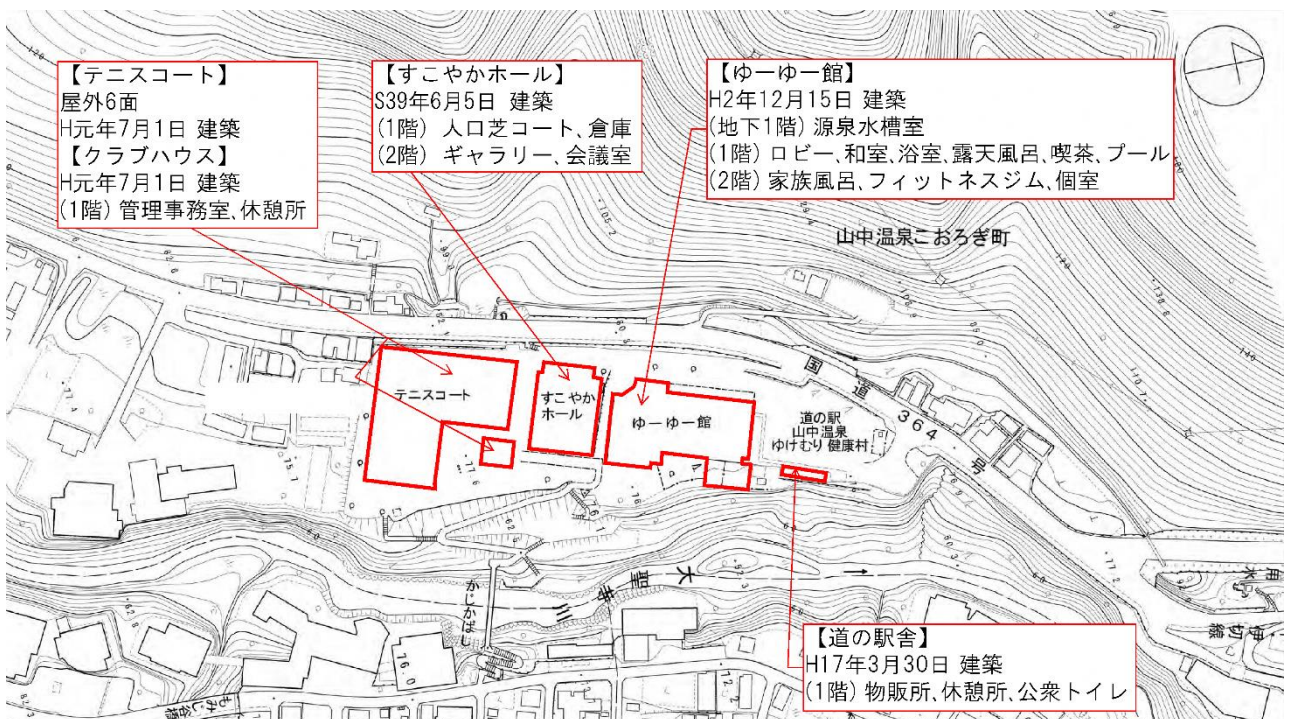
- ・市民の保養と健康増進、福祉の向上及び観光振興に寄与し、並びに一般道路の利用客等に対し、良好な休憩の場及び道路情報等を提供することを目的とした施設

2. 施設概要

- ・本施設は、“ゆーゆー館（温浴施設、屋内プール、フィットネスジム等）”、“すこやかホール（体育館等）”、“テニスコート（コート、クラブハウス）”、“道の駅舎”の4棟で形成されている。
- ・本施設は、指定管理者による運営である。
- ・建物は市の指定避難所に、駐車場は、市の指定緊急避難場所にそれぞれ指定されている。

※全て施設は、旧山中町で整備

施設		数量	主な居室等
①ゆーゆー館	温浴施設	男女各 1箇所	健康湯、露天風呂、サウナ、脱衣場
	屋内プール	1箇所	25mプール、子供用プール、ジャグジー
	フィットネスジム	1箇所	トレーニング室
	家族風呂	6箇所	
	食事処	1箇所	
	和室	1箇所	
②すこやかホール	体育館	1箇所	人工芝常設コート（多目的利用可能）
	ギャラリー	1箇所	
	会議室	1箇所	
③テニスコート	テニスコート	6面	全天候型コート6面（ナイター設備あり）
	クラブハウス	1箇所	事務所、休憩所、シャワールーム等
④道の駅舎	物産館	1箇所	販売所、休憩所、公衆トイレ



3. 老朽化の状況

- ・“すこやかホール”は、耐用年数を超過しており、老朽化が進行している。また、耐震強度を満たしていない（耐震改修工事が未実施）。
- ・“ゆーゆー館”および“テニスコート（クラブハウス）”は、一般的に大規模改修実施の目安となる経過年数30年を超過しており、老朽化が進行している（大規模改修未実施）。
- ・“ゆーゆー館”の大規模改修にかかる費用は、約4億円が見込まれる。

①ゆーゆー館

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1990年度	47年	31年	RC造	地上2階/ 地下1階	3,664㎡	新耐震基準

②すこやかホール

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1964年度	47年	57年	RC造	2	1,960㎡	無

③テニスコート（クラブハウス）

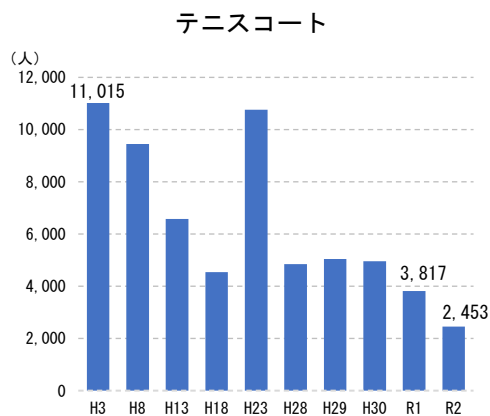
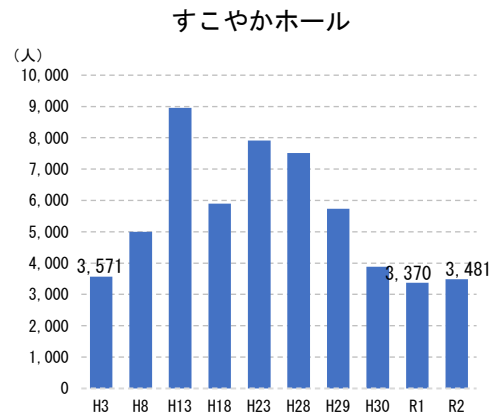
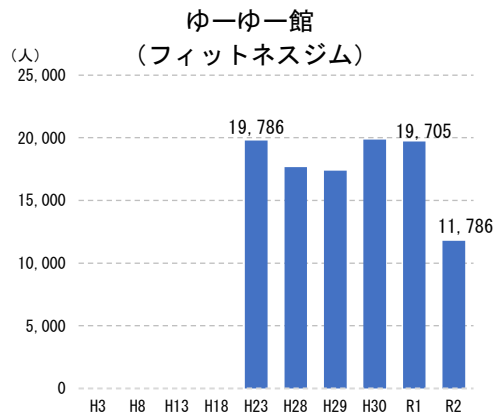
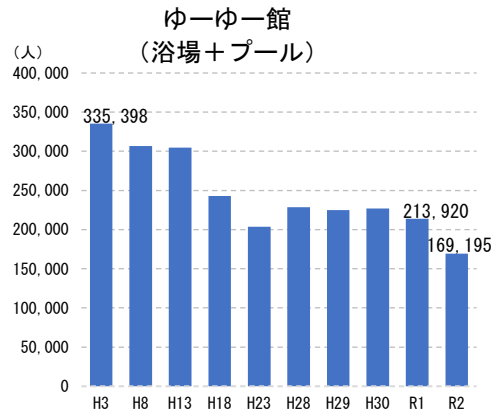
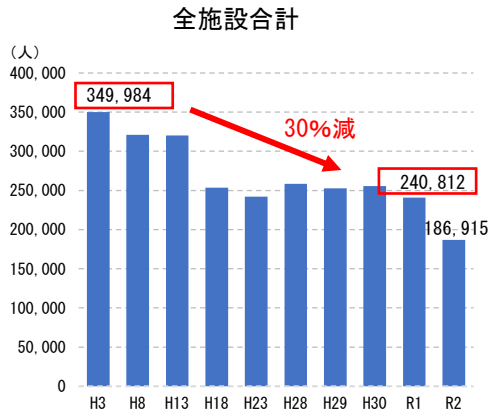
建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1989年度	22年	32年	木造	1	193㎡	新耐震基準

④道の駅舎

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
2004年度	24年	17年	木造	1	229㎡	新耐震基準

4. 利用状況

- 令和元年度の全施設合計の利用者は、約 24 万人となっており、平成3年度（ゆーゆー館建設当時）に比べて約 30%減少している。



5. 運営状況（令和元年度）

①市及び指定管理者の維持運営負担額（令和元年度）

・維持運営負担額は、計 80,176 千円となっており、利用者一人あたりの実質負担額は 332.9 円となっている。

管理形態	市及び指定管理者の年間維持運営負担額	利用者一人あたりの実質負担額
指定管理者制度	合計：80,176 千円 うち市負担分 管理委託費： 44,500 千円 その他管理費： 742 千円 維持補修費： 5,239 千円 改修工事費： 5,104 千円 うち指定管理者負担分 24,591 千円	332.9 円

・他の温浴施設に比べて、利用者一人あたりの実質負担額が高騰している。

いきいきランド加賀	山代温泉総湯	片山津温泉総湯公園	菊の湯第 1	菊の湯第 2	ゆけむり健康村
17.4 円	8.4 円	10.0 円	7.9 円		332.9 円

②指定管理者事業収支（令和元年度）

・指定管理者の事業収支は赤字が続いており、令和元年度は▲33,495 千円となっている。フィットネスジム等の自主事業は黒字であるが、それを差し引いても“施設全体で▲24,591 千円”となっており、収益性が低い状態である。

（税抜き）（単位：千円）

	温浴施設	プール	すこやかホール	テニスコート	合計
利用料	47,224	6,044	743	1,230	55,241
受託料	32,038	7,840	694	257	40,829
売上高 ①	79,262	13,884	1,437	1,487	96,070
売上原価					0
粗利計 ②	79,262	13,884	1,437	1,487	96,070
人件費	39,816	5,446			45,262
燃料費	11,186	7,457		4	18,647
委託料	8,790	2,189	428	428	11,835
光熱水費	20,629	5,155	820	601	27,205
修繕費	3,247	853	171		4,271
その他	11,927	404	107	387	12,825
経費計 ③	95,595	21,504	1,526	1,420	120,045
本部負担 ④	7,648	1,720	122	114	9,604
営業利益⑤(②-③-④)	-23,981	-9,340	-211	-47	-33,579
営業外損益⑥	84				84
経常利益⑦(⑤+⑥)	-23,897	-9,340	-211	-47	-33,495

6. 近隣の代替施設 ※ () 内はゆけむり健康村からの距離

<温浴施設>

- ・ 菊の湯第1 (約 1.2km)
- ・ 菊の湯第2 (約 3.7 km)
- ・ 山代温泉総湯 (約 6.5 km)
- ・ 加賀ゆめのゆ [民間施設] (約 12.9 km)
- ・ いきいきランドかが (約 13.4 km)
- ・ 加賀片山津温泉総湯公園 (約 13.6 km)
- ・ 余熱館ささおか (あわら市)
- ・ 温泉旅館 (山代・山中・片山津中学校区に複数あり)

<プール>

- ・ 中央公園 屋内・屋外プール (約 11.9 km)
- ・ 温泉旅館 (山代・山中・片山津中学校区に複数あり)
- ・ 余熱館ささおか (あわら市)

<フィットネスジム>

- ・ Age-Fit Sports CLUB 加賀百万石 (約 6.4 km)
- ・ ウェザースポーツクラブ (約 7.5 km)
- ・ 森林浴フィットネスクラブ GOLSP0 (約 8.1 km)
- ・ BOSS STUDIO (約 10.3 km)
- ・ いきいきランド・かが aim BS (約 13.4 km)
- ・ 加賀市健康プラザ スワトン (約 14.2 km)

<テニスコート>

- ・ 中央公園内テニスコート (約 11.8 km)
- ・ 大聖寺市営テニス場 (約 12.0 km)
- ・ 末広テニスコート (小松市)

<すこやかホール>

- ・ 山中健民体育館 (約 2.7 km)
- ・ 加賀体育館 (約 11.1 km)
- ・ 加賀市スポーツセンター (約 12.0 km)

<道の駅>

本施設周辺には代替となる道の駅はないが、物販や飲食については、山中温泉中心部の商店街が代替施設として考えられる。

施設分類：集會施設（大ホール機能）

（単位 人、千円、円/人）

中学校区	錦城中学校	東和中学校	山代中学校	山中中学校	
施設名	市民会館	セミナーハウスあいらす	文化会館	山中温泉文化会館	山中座
建築年度（年）	1983	1998	1979	1973	2002
築年数(年)	38	23	42	48	19
耐用年数（年）	50	38	50	50	50
再調達価格（千円）	870,499	1,224,746	2,161,942	1,367,618	1,172,024
C 2021-2060年の更新費試算（千円）	597,339	1,041,034	2,846,557	1,983,047	761,816
A 利用者人数（延べ人数）（人）	41,505	18,401	57,848	19,755	28,129
大ホールのみ利用者人数（人）	未計上	未計上	28,497	5,795	未計上
B 市の維持運営負担額（千円）	22,113	17,871	25,576	9,575	15,387
1人当たり実質市負担額 B/A （円/人）	532.8	971.2	442.1	484.7	547.0
D 2021-2060年の維持負担額試算 （千円）	884,520	714,840	1,023,040	383,000	615,480
2021-2060年の負担額試算（C+ D）（千円）	1,481,859	1,755,874	3,869,597	2,366,047	1,377,296
2021-2060年の年平均負担額試算 （C+D）/40（千円）	37,046	43,897	96,740	59,151	34,432
除却費用試算（千円）	122,400	131,720	196,812	184,572	51,873
収容人数	300人	122人	1,432人	1,158人	180人
施設の必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・錦城中学校区唯一の大ホール機能がある集會施設 ・市民福祉の向上と住民活動の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・東和中学校区唯一の大ホール機能がある集會施設 ・住民交流及び生涯学習活動の場を提供し、もって市民福祉の増進に資する 	<ul style="list-style-type: none"> ・山代中学校区唯一の大ホール機能がある集會施設 ・市民の文化の振興、教養の向上及び集會その他各種行事に使用する ・市内最大規模の収容人数 ・市内で開催される大規模イベントの会場として活用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化の振興、教養の向上及び集會その他各種行事に使用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能「山中節」を中心とした郷土芸能の振興と商工観光の発展を図り、活力ある町づくりに寄与する
代替施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールは同地区内にはないが、市内に複数あり ・貸会議室は、同地区内にあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール、貸会議室、団体事務所は同地区内にはないが、市内に複数あり ・広域防災拠点は同地区内にあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホール機能を有する温泉旅館は同地区内にあり ・貸会議室、団体事務所は同地区内にはないが、市内に複数あり ・指定緊急避難場所は同地区内にあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールは同地区内に、山中座あり（ただし、収容人数は少ない） ・大ホールを有する温泉旅館は同地区内にあり ・貸会議室、団体事務所は同地区内にはないが、市内に複数あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・同地区内に、山中温泉文化会館あり（収容人数1,000人以上） ・大ホールを有する温泉旅館は同地区内にあり
特記	<ul style="list-style-type: none"> ・貸会議室機能あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸会議室機能あり ・団体事務所機能あり ・広域防災拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事済み ・貸会議室機能あり ・建物は、指定避難所 ・駐車場は、指定緊急避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性なし ・貸会議室機能あり ・団体事務所機能あり 	

令和元年度決算主要施策報告書等より

大ホール機能（山中温泉文化会館）

1. 建設時の目的

- ・市民の文化の振興、教養の向上及び集会その他各種行事に使用し、もって市民の福祉の増進に資するための施設（文化に関する事業の主催、文化に関する創作、研究及び発表会並びに集会、会議等の施設設備の提供）

2. 施設概要

- ・本施設は、山中中学校区にあり、市内の他の地域からのアクセス性は低い。
- ・本施設は、市が直接運営している。
- ・本施設には、各種団体（5団体）が事務所として賃貸使用している。

部屋名	数量	収容人数等
大ホール	1箇所	1,158人収容（1F部分：700人、2F部分：458人）
会議室	4部屋	第1会議室（50人収容）、第2会議室（20人収容）、まちづくり会議室（20人収容）第4会議室（30人収容）
特別会議室	3部屋	特A会議室（20人収容）、特B会議室（26人収容）、特C会議室（20人収容）
視聴覚室	1部屋	20人収容
婦人教室	1部屋	15人収容
和室	2部屋	大和室（70人収容）、小和室（30人収容）
団体事務所	5団体	山中商工会、山中温泉旅館協同組合、山中温泉観光協会、山中温泉まちづくり推進協議会、山中ロータリークラブ

3. 老朽化の状況

- ・これまでに大規模改修工事を実施していないため、老朽化が進んでいる。また、耐震強度を満たしていない。（耐震改修工事が未実施）
- ⇒平成25年度に大規模改修工事に向けた調査を行ったが、費用が8億円以上と見込まれたことから断念した経緯がある。

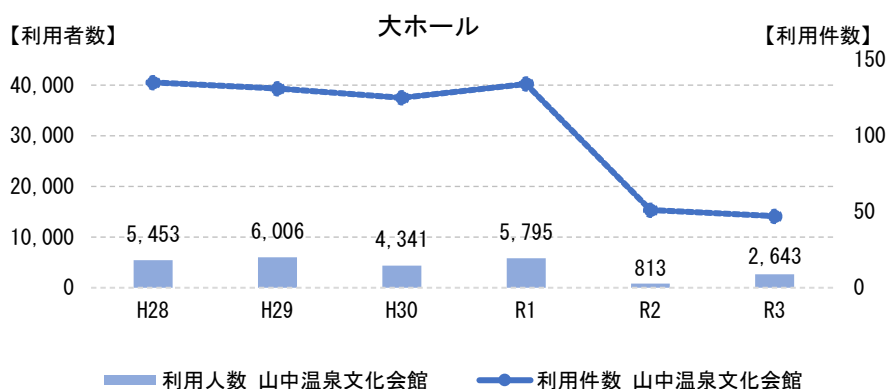
建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1973年度	50年	48年	RC造	4	5,127㎡	無

4. 利用状況

- ・平成 28 年度から令和元年度における大ホールの利用者は、5 千人前後で推移している。
- ・平成 28 年度から令和元年度における平均利用件数※は 130 件となっており、平均年間稼働率は約 36.2%となっている。
- ・8 割以上の利用が、イベント準備や定期練習の利用である。その他の利用は、音楽系イベントや大会・研修等である。

※ 1：令和 2 年度以降の利用者および件数等は、新型コロナウイルスの影響によりこれまでの利用状況と異なるため、参考値とする

※ 2：年平均使用率は、平成 28 年度から令和元年度で算出



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均 (H28~R1)	平均年間稼働率 (H28~R1)
利用件数 (うち準備等)	135 (115)	131 (114)	121 (106)	134 (112)	51 (48)	47 (14)	130 (112)	約 36.2% (約 31.2%)
利用者数 (うち準備等)	5,453 (1,783)	6,006 (1,256)	4,341 (1,122)	5,795 (1,167)	813 (623)	2,643 (408)	5,399 (1,332)	—

※年末年始 12/29~1/3 休館

※令和 3 年度は 4 月~12 月分

《参考》

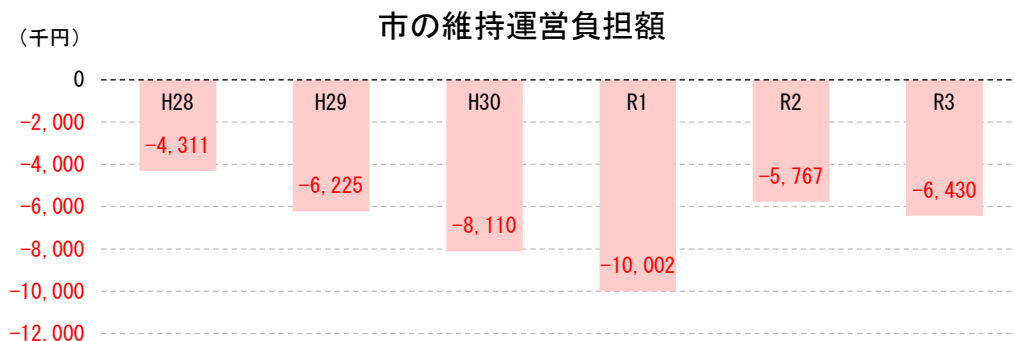
- ・全国調査（令和元年度実績）によると、公立大ホール（客席数 1,000 席以上）の稼働率は 53.1% となっている。

出典：令和 2 年度公立文化施設の運営情報調査報告

5. 運営状況

①市の維持管理負担額

- ・平成 28 年度から令和 3 年度における収支は毎年赤字となっており、市の維持運営負担額は、約 4,300 千円から約 10,000 千円で推移している。



収入額 (千円)

収入項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
会館使用料	1,657	1,143	1,176	1,246	649	542
各種団体事務所賃貸料	2,302	2,264	2,258	2,254	1,770	2,282
合計	3,959	3,407	3,435	3,500	2,419	2,824

支出額 (千円)

支出項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
光熱水費	4,472	4,665	4,941	4,921	4,050	2,885
委託料	2,711	2,753	2,703	2,224	2,321	1,615
修繕費	1,087	2,214	3,901	1,627	1,815	4,754
整備額	0	0	0	4,730	0	0
合計	8,270	9,632	11,545	13,502	8,186	9,254

6. 近隣自治体・類似自治体の整備状況

- ・収容人数 1,000 人以上の大ホール機能を有するのは小松市 (1 施設)、能美市 (1 施設)、鯖江市 (1 施設)、越前市 (1 施設) である。

小松市：小松市公会堂 (固定席：1,078 席、令和元年度の年間稼働率：約 30.1%)

能美市：根上総合文化会館 (音楽ホール：固定席 704 人、円形ホール：固定席なし 1,500 人)

鯖江市：文化センター (大ホール：1,017 席)

越前市：文化センター (大ホール：1,062 席)

※南加賀地域 (小松市・能美市・川北町)、福井県 (あわら市・坂井市・鯖江市・越前市)、富山県 (南砺市) を対象に調査

大ホール機能（加賀市文化会館）

1. 建設時の目的

- ・市民の文化の振興、教養の向上及び集会その他各種行事に使用し、もって市民の福祉の増進に資するための施設（会議室・ホールの貸館、音楽や伝統芸能などのイベント開催）

2. 施設概要

- ・本施設は、本市のほぼ中心部（山代中学校区）にあり、市内の他の地域からアクセスがしやすい立地である。
- ・本施設は、指定管理者制度による運営である。
- ・建物は市の指定避難所に、駐車場は、市の指定緊急避難場所にそれぞれ指定されている。

部屋名	数量	収容人数等
大ホール	1 箇所	1,426 席（身障者用：6 席）、オーケストピット使用時 1,310 席
大会議室	2 部屋	101 会議室（108 人収容）、201・202 会議室（90 人収容 2 室続きで使用可）
小会議室	4 部屋	102 会議室（36 人収容）、203 会議室（42 人収容）、204 会議室（24 人収容） 205 会議室（36 人収容）
特別会議室	1 部屋	14 人収容
茶室	1 部屋	10 人収容

3. 老朽化の状況

- ・一般的に大規模改修実施の目安となる経過年数 30 年を超過しており、老朽化が進行している。
⇒これまでに耐震補強工事（H26）をはじめ、老朽化に応じて屋上防水改修（H24）、各種電気・機械設備の改修・更新工事を実施しており、耐震改修工事済みである

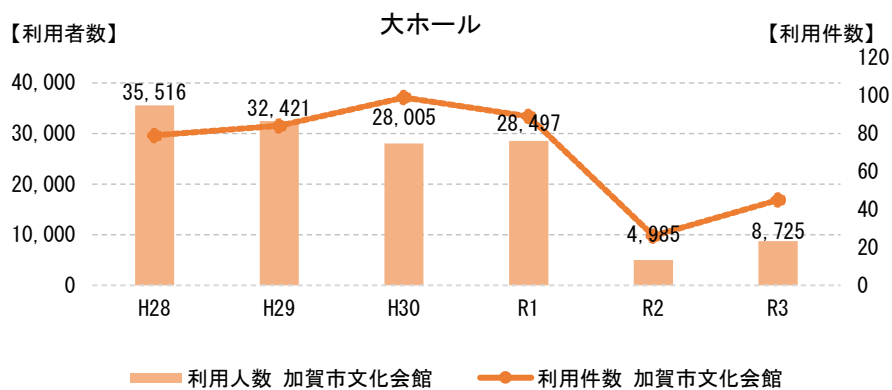
建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1979 年度	50 年	42 年	RC 造	4	5,467 m ²	耐震化済

4. 利用状況

- ・平成 28 年度から令和元年度における大ホールの利用者は、約 3.6 万人から約 2.8 万人で推移している。
- ・平成 28 年度から令和元年度における平均利用件数※は 95 件となっており、平均年間稼働率は約 26.5%となっている。
- ・利用の約半数が、イベント準備・練習や定期練習（吹奏楽、バレエ）などである。その他の利用は、成人式や市民音楽祭・芸能祭、オーケストラ公演、中学校・高校の定期演奏会、研修等である。

※ 1：令和 2 年度及び令和 3 年度の利用者および件数等は、新型コロナウイルスの影響によりこれまでの利用状況と異なるため、参考値とする

※ 2：年平均使用率は、平成 28 年度から令和元年度で算出



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均 (H28~R1)	平均年間稼働率 (H28~R1)
利用件数 (うち準備等)	86 (36)	87 (41)	101 (60)	107 (67)	29 (12)	45	95 (51)	約 26.5% 約 14.2%
利用者数 (うち準備等)	35,516 (1,839)	32,421 (2,725)	27,945 (3,010)	31,271 (6,035)	6,054 (521)	8,725	31,788 (3,402)	—

※年末年始 12/29~1/3 休館

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により R3 年 5 月 12 日~6 月 13 日休館

また、R3 年 8 月 2 日~9 月 30 日 新規予約を加賀市民に限る利用制限実施

《参考》

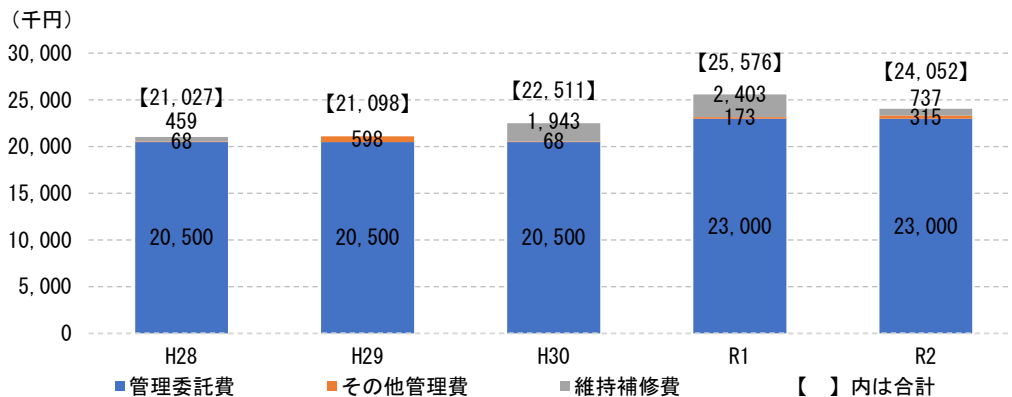
- ・全国調査（令和元年度実績）によると、公立大ホール（客席数 1,000 席以上）の稼働率は 53.1%となっている。

出典：令和 2 年度公立文化施設の運営情報調査報告

5. 運営状況

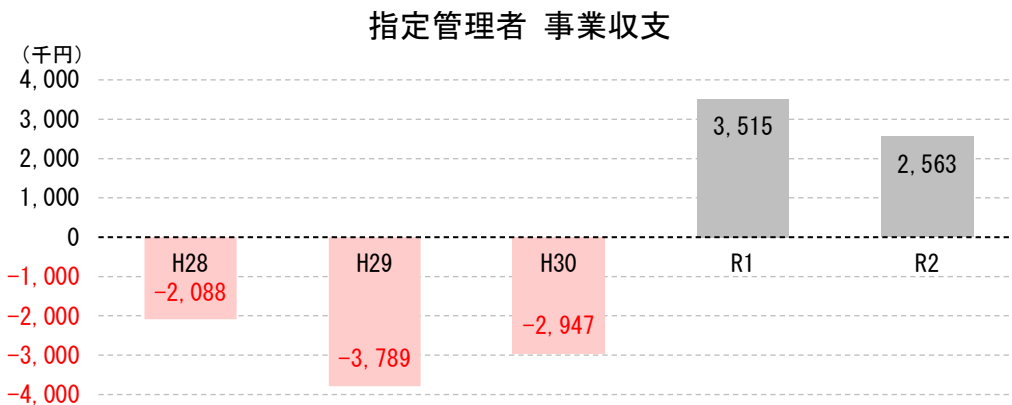
①市の維持管理負担額

- 平成 28 年度から令和元年度における市の維持運営負担額は約 21,000 千円から約 26,000 千円で推移している。なお、近年では大規模修繕で舞台周りの照明・機械設備の更新工事行っている。平成 30 年度には非常用発電機も同時に更新工事を行っており、高額な修繕費を支出している。(参考：平成 30 年度の大規模修繕費 計 104,382 千円)



②指定管理者事業収支

- 指定管理者の事業収支は平成 28 年度から平成 30 年度は赤字となっている。平成 30 年度末で指定管理期間が満了し、令和元年度からの指定更新では管理委託費を 2,500 千円増額したこともあり、黒字に転じている。



入額 (千円)

収入項目	H28	H29	H30	R1	R2
会館利用料	13,534	13,771	12,820	14,256	7,258
指定管理委託料	20,500	20,500	20,500	23,000	23,000
合計	34,034	34,271	33,320	37,256	30,258

支出額 (千円)

支出項目	H28	H29	H30	R1	R2
人件費	12,218	13,218	13,561	12,255	10,356
光熱水費	8,052	7,958	7,398	6,565	4,707
委託料	10,751	11,172	10,363	10,065	8,661
修繕費	321	442	162	84	112
その他	2,105	2,457	2,097	2,273	1,808
管理運営費	2,675	2,813	2,686	2,499	2,051
合計	36,122	38,060	36,267	33,741	27,695

6. 近隣自治体・類似自治体の整備状況

- ・ 収容人数 1,000 人以上の大ホール機能を有するのは小松市（1 施設）、能美市（1 施設）、鯖江市（1 施設）、越前市（1 施設）である。

小松市：小松市公会堂（固定席：1,078 席、令和元年度の年間稼働率：約 30.1%）

能美市：根上総合文化会館（音楽ホール：固定席 704 人、円形ホール：固定席なし 1,500 人）

鯖江市：文化センター（大ホール：1,017 席）

越前市：文化センター（大ホール：1,062 席）

※南加賀地域（小松市・能美市・川北町）、福井県（あわら市・坂井市・鯖江市・越前市）、
富山県（南砺市）を対象に調査

施設分類：スポーツ施設（水泳）

（単位 人、千円、円/人）

中学校区	東和中学校		
施設名	飛込プール	屋外プール	屋内プール
建築年度（年）	1986	1986	1983
築年数（年）	35	35	38
耐用年数（年）	38	50	34
再調達価格（千円）	126,900	102,549	523,428
C 2021-2060年の更新費試算（千円）	82,485	66,657	1,073,027
A 利用者人数（延べ人数）（人）	53,973		
B 市の維持運営負担額（千円）	22,142		
1人当たり実質市負担額 B/A （円/人）	410.2		
D 2021-2060年の維持負担額試算 （千円）	885,680		
2021-2060年の負担額試算（C + D）（千円）	2,107,849		
2021-2060年の年平均負担額試算 （C + D） / 40（千円）	52,696		
除却費用試算（千円）	5,730	15,680	61,516
施設の必要性・効果	・市内唯一の飛込みプール ・市民の体育、レクリエーション、集会 その他各種行事に利用し、市民のスポー ツの振興及び健康、福祉の増進を図る	・市内唯一の50mプール ・市民の体育、レクリエーション、集会 その他各種行事に利用し、市民のスポー ツの振興及び健康、福祉の増進を図る	・市民の体育、レクリエーション、集会 その他各種行事に利用し、市民のスポー ツの振興及び健康、福祉の増進を図る
代替施設	・市内になし ・近隣自治体、類似自治体では、小松市 のみが有する	・市内になし ・近隣自治体、類似自治体では、小松市 と鯖江市が有する	・同地区内にはないが、市内にあり ・プールを有する温泉旅館は市内に複数 あり
特記	・一般利用は禁止されている ・団体利用は可能である（7月～8月の み）が、申込がない状態 ・消防水難救助訓練で年数回利用されて いる ・老朽化が進んでいる	・50mプール ・7～8月のみ稼働 ・老朽化が進んでいる	・25mプール ・水泳教室に利用されている ・老朽化が進んでいる

令和元年度決算主要施策報告書等より

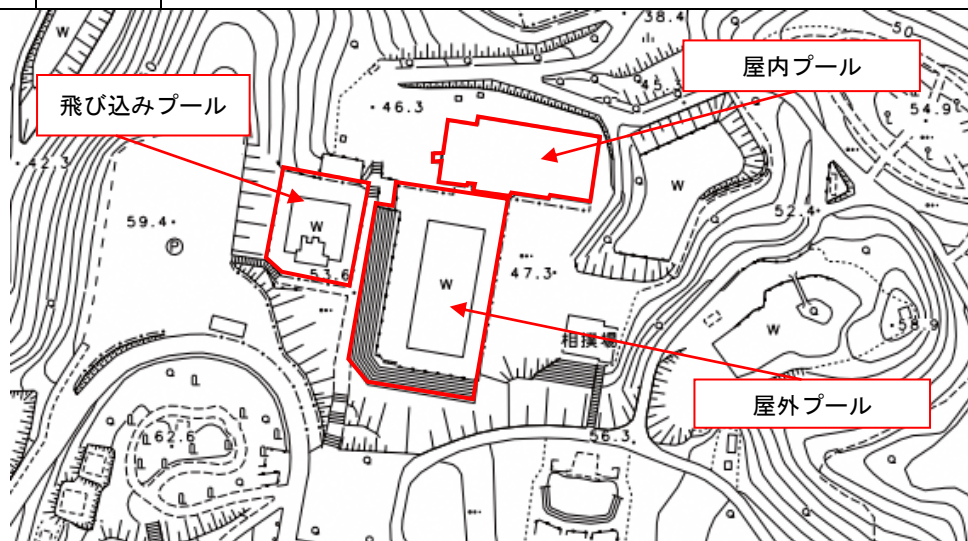
屋外・屋内・飛び込みプール

1. 建設時の目的

- ・市民の体育、レクリエーション、集会その他各種行事に利用し、市民のスポーツの振興及び健康、福祉の増進を図る施設
- ・加賀市中央公園内に、“屋外 50m プール”、“屋内プール”、“飛び込みプール”を集約して整備している

2. 施設概要

部屋名	数量	施設機能等
屋外水泳プール	1 箇所	50m プール（8 レーン）、観客スタンド
屋内水泳プール	1 箇所	25m プール（7 レーン）、幼児用プール、会議室
飛び込みプール	1 箇所	観客スタンド



3. 老朽化の状況

<屋外 50m プール>

- ・ろ過装置が故障中である。そのため、飛び込みプール用のろ過装置を転用している。ただし、当該ろ過装置も相当に経年劣化しており、かろうじて可動している状況。

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1986 年度	50 年	35 年	RC 造	1	436 m ²	新耐震基準

<屋内プール>

- ・耐用年数を超過しており、施設全体で老朽化が著しい。ろ過装置やボイラー等の設備機器も相当に劣化しており、常時メンテナンスが必要。また、開閉屋根が故障して可動しない状態である。雨漏り等も発生している。

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1984 年度	34 年	37 年	S 造	2	1,709 m ²	新耐震基準

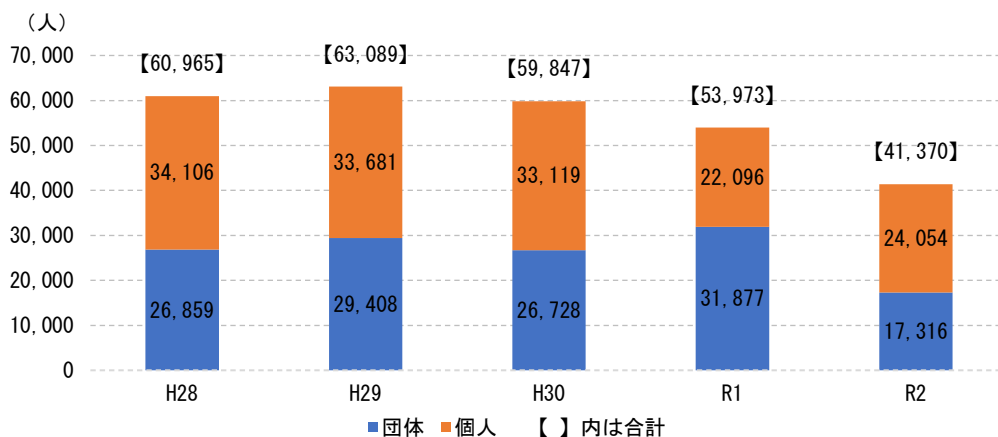
<飛び込みプール>

- ・現在、ろ過装置を屋外プールに転用している。（来年度以降は、施設の使用が不可な状態）

建設年度	耐用年数	経過年数	構造	階数	延床面積	耐震性能
1986 年度	38 年	35 年	RC 造	1	159 m ²	新耐震基準

4. 利用状況

- 平成 28 年度から平成 30 年度における“屋外 50m プール”および“屋内プール”の利用者は、約 6 万人で推移しており、令和元年は約 5.4 万人となっている。



屋外 50m プール利用可能時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	3,011	2,040	5,106	8,686	9,138	5,446	4,902	4,790	4,331	4,186	4,692	4,637	60,965
29年度	4,639	4,931	4,852	8,722	8,428	5,322	5,181	4,723	4,699	3,643	3,033	4,916	63,089
30年度	4,576	4,805	4,519	7,760	7,603	5,282	4,932	4,348	4,369	3,904	3,709	4,040	59,847
元年度	4,069	4,580	4,550	6,714	7,964	4,724	4,170	4,089	3,963	3,675	2,583	2,892	53,973
2年度	1,462	0	3,585	4,856	6,304	4,422	3,899	3,867	3,334	2,844	3,308	3,489	41,370
3年度	3,518	1,892	1,559	6,283	5,546	4,078	4,255	4,208	3,525				34,864

各プールの利用概要

<屋外プール>

- 利用可能時期：7月1日～8月31日

<屋内プール>

- 一般利用
- 指定管理者事業
(水中運動教室[各回2～3人の受講]、ジュニアスイミング教室[会員388人])

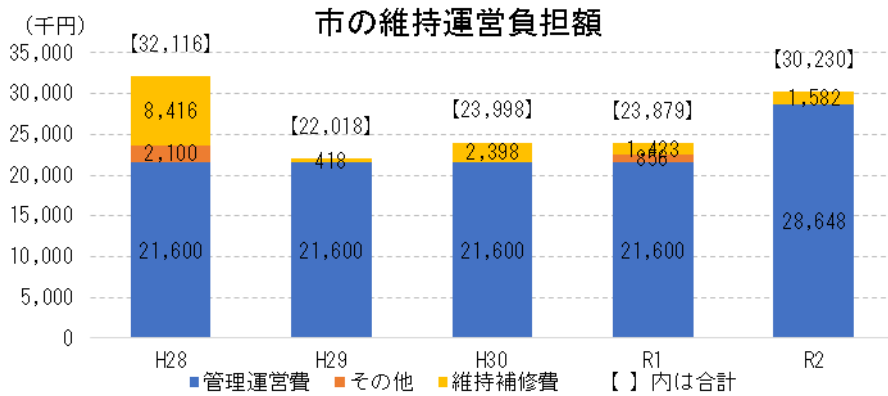
<飛び込みプール>

- 利用者の安全のため、従来一般利用は禁止
- 団体での利用は可であるが、利用申し込みは無い状況
- 指定管理者の自主事業で利用(ちびっこ飛び込み教室、年1回程度)
- 消防水難救助隊の訓練で毎年数回利用(シーズン以外も使用)

5. 運営状況

①市の維持運営負担額

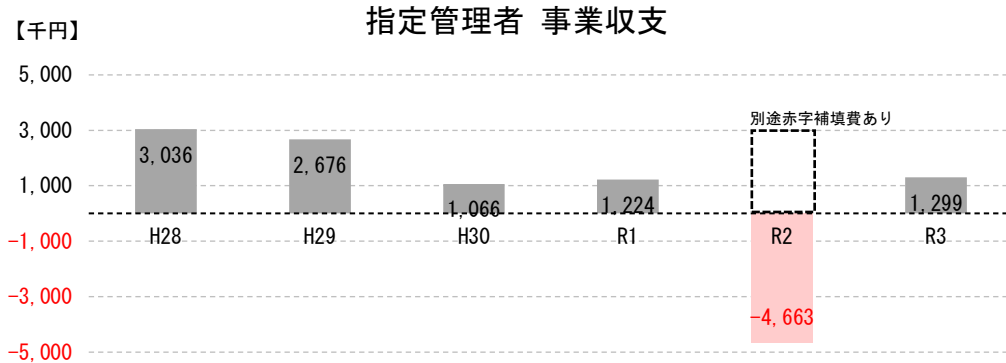
- ・平成28年度から令和2年度における市の維持運営負担額は、約22,000千円から約32,000千円で推移している。各年とも指定管理料以外に老朽化に伴う修繕費を負担している。



②指定管理者事業収支

- ・指定管理者の事業収支は、令和2年度以外は黒字経営となっている。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市より別途赤字補填費約7,000千円を充填（休業期間：令和2年4月13日～5月31日、令和3年5月11日～6月13日）。



収入額（千円）

収入項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用料	6,399	5,686	5,653	5,472	4,140	2,411
事業収入	28,007	29,597	28,117	27,114	21,807	19,077
受託料	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	16,497
合計	56,006	56,883	55,370	54,186	47,547	37,985

支出額（千円）

支出項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
人件費・事務費	22,942	23,637	23,087	25,316	25,455	16,296
委託料	2,707	2,743	2,992	2,033	1,362	1,166
修繕費	875	355	812	392	476	653
光熱水費	13,147	14,137	14,588	14,221	12,881	9,694
その他	13,299	13,335	12,825	11,000	12,036	8,877
合計	52,970	54,207	54,304	52,962	52,210	36,686

※令和3年度の負担額は令和3年12月末までの集計分

6. 近隣自治体の整備状況

<屋外 50mプール>

- ・小松市（1施設）

<屋内プール>

- ・小松市（1施設）、能美市（3施設）、あわら市（1施設）、坂井市（1施設）

<飛び込みプール>

- ・小松市（1施設）